

「A 表現」(1)ア造形遊び～「光のさしこむ絵」「光とかげから生まれる形」「まどをのぞいて」(日本文教出版)～

「光と影のインスタレーション」～ようこそ！かげかげランドへ～

1. 教材の特徴

実践の背景

「令和の日本型学校教育」の構築を
目指して
(令和3年1月中
央教育審議会)

子供の育ちやつまずき、悩みなどの理解に努め、子供一人ひとりの興味や関心、意欲を見取り、「子供が自らの学習の状況を把握し、主体的に学習を調整する」ことができるように、教師が細やかな指導・支援することが大切です。

第3期教育振興
基本計画

子供たちが自立した一人の人間として、主体的に選択し、判断し、幅広い知識や経験、創造的な思考力に基づいて、他者と協働し「新しい価値」を創造(図1)する能力の育成が求められているのです。

そのためには、多様化する価値観の中で、一人の自立した自己を育んでいくカリキュラム・マネジメントを実現し、子供一人一人が願いと自信を持って可能性に挑戦したり、自ら見つけた問いの解決を目指し、多様な他者と協働したりしながら、主体的に社会に参画していくための力を育成することや、学び全体の見通しや学習方法について、自らの学ぶ姿を客観的に捉え、学びを調整しながら、子供自身が学びをつくらうとする態度を涵養することが重要であると考えています。

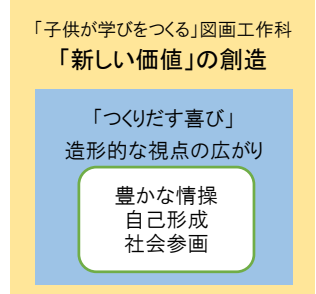


図1 「子供が学びをつくる」図画工作科

実践の目的

特定の課題に関する調査(H23, 国立教育政策研究所)
小学校学習指導要領(H29)解説
図画工作編

初等教育の図画工作科においては、「児童が材料や場所などと出会い、それを手にするなどして、自分で目的を見つけて発展させるような活動」や「感性を働かせながら作品をつくったり見たりする活動」など、その活動のプロセスの中にある行為そのものが子供の「つくりだす喜び」となり、「新しいものや未知の世界に向かう楽しさ」へとつながるような実践の充実が求められています。

そこで、本実践においては、表現と鑑賞が一体的に働く過程で、材料や作品、場所や出来事などを、造形的な視点で捉え、自分の中にある色や形などの造形的な特徴に対する見方や感じ方を深めながら、「つくりだす喜び」を実感し、「豊かな情操」を育む実践の実現を目指していきたいと考えています。

このような実践を積み重ねていくことで、子供たちは美しいものや優れたものに触れ、自らの感性や想像力を広げ、自己の中に生まれ見つけた「新しい価値(造形的な見方や考え方)」に気が付き、造形的な特徴のよさや美意識への本能とともに、日常生活や社会に主体的に関わる態度や、伝統や文化、芸術に対する敬意の念、新たな社会を創造する意志を育むことにつながっていくと考えています。

『芸術による教育』
ハーバート・リード
D, 1945

それは、図画工作科における創造的な造形活動が、「事実の世界へ価値を導入する」過程であり、「個性をその個人の所属する社会集団の有機的な統一と調和させる」方法であると考えられているからです。つまり、学習指導要領(昭和26年試案)から現在の「造形遊び」の活動へと受け継がれてきた、図画工作科の教育活動は「生活を明るく豊かに営む能力・態度や社会人として平和的・文化的な生活を営む資質を養う学び」であり、芸術教育の領域のみならず、学校教育全体や人間形成の過程におけるすべての局面において豊かさをもたらす学びであることを示す実践的提案の一端になると考えています。

ハーバート・リード
の美術教育論
(本田悟郎, H23)

カリキュラム・マネジメントと単元の構想

『造形表現活動における「経験の再構成」の構造』
(鈴木敦子, 2013)

本実践「光と影のインスタレーション」では、「過去の経験が新たな経験として再構成」されていく学習プロセスの中で造形的な見方・考え方を働かせ、「経験のサイクル(図2)」を累積、総合し、子供自身が造形表現の新しい価値を「自覚化」することによって、新しいものや未知の世界に向かう楽しさを感じ、連続性のある学びを自らの手と体全体をつかって創造的につくりあげていく造形遊びの教材化を目的としています。(表1)

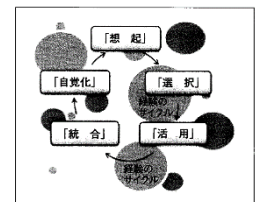


図2 造形表現活動の構造モデル(鈴木)

表1：題材の系統表(日本文教出版平成27年度版「図画工作」年間指導計画を基に作成)

		1・2上	1・2下	3・4上	3・4下	5・6上	5・6下	
A 表現	【造】造形遊びをする	材料や場所を基にして活動する	材料を基にして カラフルいろみず	ひかりのプレゼント	ぬのををつないで	光とかけから生まれる形		
		場所・環境を生かして				まどをのぞいて	あんなところがこんなところに 見えてきた 光と場所のハーモニー	ここから見ると 自然を感じるすてきな場所で 思い出のあの場所に
		体全体を働かせながら活動する	すなやつちとなかよし べったんコロコロ ならべてならべて	つないでつるして	ミクミックス	ここをつつんだら		
	【絵】絵に表す	材料や用具に触れながら思い付いたことを表す	かきたいものなあに やぶいたかたちからうまれたよ いろいろなかたちのかみから	とろとろえのぐでかく はさみのあーと ざいりょうからひらめき	絵のぐ+水+ふで=いいかんじ! ペタパタひらくと 土でかく	絵の目でゆめまらう これできがえ	でこぼこの絵 消してかく	墨と水から広がる世界 感じて考えて
		感じたこと、想像したこと、見たことから表す	日常生活でかきためたことから表す	おはなみスケッチ	わたしの6月の絵		絵の具スケッチ	
		生活経験から表す	みてみてあのね	たのしかったよキドキしたよ	あの日あの時の気持ち	わすれられない気持ち	心に残ったあの時あの場所	わたしの大切な風景
		想像したことから表す	のってみたいないきたいな	ふしぎなたまご	ひらいて広がるふしぎなせかい	まぼろしの花	心のもよう まだ見ぬ世界	音のする絵
		物語などから感じたこと、想像したことから表す	おはなしからうまれたよ	ことばのかたち	ことばから形・色	言葉から形・色	言葉から思いを広げて	言葉から想像を広げて
	版に表す	うつしたかたちから	たのしくうつけて	いろいろうつけて	ほってすって見つけて	ほり進めて刷り重ねて	版で広がるわたしの思い	
	【立】立体に表す	材料や用具に触れながら思い付いたことを表す	粘土で 様々な材料で	ひもひもねんど にぎにぎねん土 くしゃくしゃぎゅつ	カラフルフレンド きょうりゅう	立ち上がれ！ねん土 ひみつの すみか	わたしのいい形 糸のこニススイ 立ち上がれ！ワイヤーアート	固まった形から 光の形
		感じたこと、想像したこと、見たことから表す	粘土で 様々な材料で	ごちそうパーティーはじめよう いっしょにおさんぽ	ねん土マイタウン ともだちハウス	元気のおまもり ようこそ！ゆめのまちへ	のぞいてみると ミラクル！ミラーステージ	水の流れのように 未来のわたし
	【工】工作に表す	飾るもの・使えるものをつくる	ちよきちよきかざり ひらひらゆれて かさつてなにいれよう	わっかでへんしん	空きようきのへんしん	ギョギョトントンクリエイター おもしろだんボールボックス	使って楽しい焼き物(p.24-25)	おもしる筆 すてきな明かり 1まいの板から
遊ぶもの・仕組みから思い付いたものをつくる		おってたてたら かみざらコロコロ によきによきとびだせ	まどからこんにちは 音づくりフレンズ わくわくおはなしゲーム パタパタストーリー	くるくるランド ふき上がる風のにせて ゴムゴムパワー マグネットマジック	コロコロゴラレ ゴー！ゴー！ドリームカー	形が動く絵が動く わくわくプレイランド	くるくるクランク	
伝え合うものをつくる					カードでつたえる気持ち	伝え合いたい思い	ドリーム・プロジェクト	
B 鑑賞	身の回りのものの楽しさや面白さ、よさを感じ取る	でこぼこはっけん！ すきまちゃんのすきなすきま	いろの見えかたむげん大	身近なせんの形・色	色合いひびき合い	水から発見ここきれい！		
	自分の作品や身近な美術作品などのよさや面白さ、美しさを感じ取る				ポーズのひみつ	カードを使って	この筆あと、どんな空？ わたしの感じる和	

※ 実線：光を透過させたり、遮ったりしたときの形や色の表現を工夫する題材、破線：色の違いや組合せを感じる題材、点線：場所や環境を生かした題材

教材の系統性

本実践「光と影のインスタレーション」は、第3学年及び第4学年の目標と内容に基づき単元構成しています。

この実践を行うまでに、子供たちは色紙やセロハン等教室や窓ガラスを飾ったり(A表現「工作に表す」、第1学年「ちよきちよきかざり」)、透過性のある材料を使って光を通しながら、楽しい色や形の見え方を考えたり(A表現「造形遊び」、第2学年「ひかりのプレゼント」)、透過性のある材料の組合せを試しながら作品を作ったり(A表現「立体に表す」、第3学年「クリスタルアニマル」)する学習を行ってきました。

子供たちは、幼児教育の段階から親しんできた、絵の具やクレヨンで絵をかいたり、粘土で手に伝わる感覚に新たな発見をしたり、あるいは子供にとって意味のある事象(もの・こと)をつくったりするなどの活動を通して、表したいことを形や色などのイメージを手掛かりに活動することに楽しみや喜びを感じるようになっていきます。

低学年の造形活動では、赤、青、黄などの色の違いに気付き、想像したことを基に、絵や立体、工作に表す造形活動に取り組みます。同時に、身近にある自然物や人工の材料に働きかけ、自分の感覚や行為などを通して造形的な視点(色や形など)で捉え、そこから生まれたイメージや感じたことを基に、思いのままに発想、構想し、手や体全体の感覚などを働かせてつくりだす喜びを感じるようになっていきます。

自己調整する姿

芸術表現の捉え方についての考察(岡田猛, 2013)

本実践では、そうした「造形遊び」の共通事項に基づいた特性と、「絵や立体、工作に表す」活動の目的やテーマに合わせて追求していく性質の両方を生かしたカリキュラム・マネジメントとなっています。2つの側面から資質・能力を育成し、行為と表現のサイクルの中で**自己調整【省察】**することによって、色や形、組合せ、そして物や場所と関わっていく経験を積み重ね、「新しい価値(造形的な見方・考え方)」を育んでいきます。(図4)

また、表現と鑑賞が一体となって学習が展開されるよう、学習活動を工夫することで、鑑賞活動における思考力、判断力、表現力等が、その後の表現活動に反映されるように支援を行っていきます。

特に本実践では、「カラフルいろみず(第1学年造形遊び)」や「いろの見えかたむげん大(第2学年鑑賞)」、「カラフルフレンド(第3学年立体に表す)」など、光を透過する材料を生かし、色の組み合わせを楽しむ系統性のある複数の題材を通して、多様な色合いや色彩とその組合せに対する造形的な見方や感じ方を広げ、同一の造形的な視点によって関連した表現活動を行うことによって、子供たちの内的動機を喚起するようそれぞれの単元を配置しています。

このような学習活動の中で、子供たちは、過去の経験から獲得した知識や技能を基に想像力を膨らませ、透過性のある材料の組合せを試したり、イメージと見通しをもって題材や他者と関わったりしながら、新しい学びの価値を「自覚化」していく過程を**自己調整【メタ認知(モニタリング)】**(R2 本校研究紀要)することができるようになります。

光と影による表現方法に対する知識や理解、それらを自分の思いに合わせて創造的に、発展的に技能を更新しながら、場所や環境、空間を構成するインスタレーションという新たなチャレンジに「知的な初心者」として、つくりだす喜びと新しい価値を創造する意志をもって、**自己調整【学習の転移】**する姿が見られるようになって考えています。

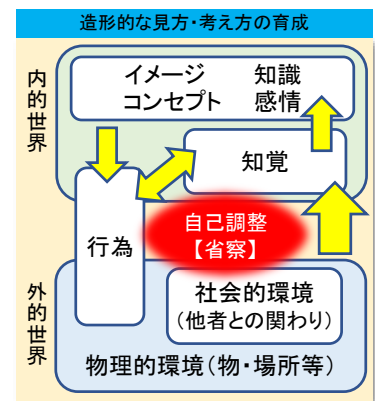


図4 行為と表現のサイクルと自己調整【省察】の構造(「芸術領域との関わり」の中で行為と省察のサイクル)を基に筆者作成

「授業が変わる～認知心理学と教育実践が手を結ぶとき～」(J.T.Bruer,1993)

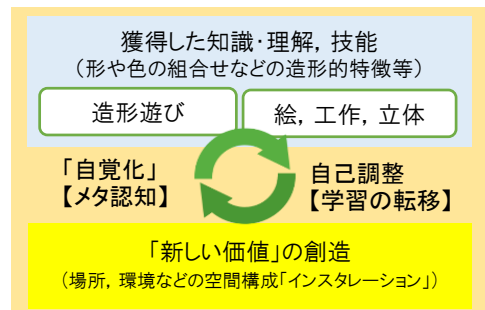


図5 造形表現活動における自己調整【学習の転移】構造

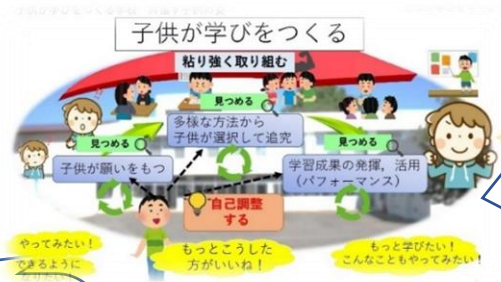
2. 目指す子供の姿と教師の支援

	課題設定	課題追究	パフォーマンス
6年生修了時	<p>造形的な見方・考え方を働かせ、形や色などの視点から材料や作品、出来事などを捉えて、題材を見つけたり、自分と対象との関わりを深めたりしながら、自分にとっての意味や価値を創造的に表現しようとする。</p> <p>自分や友達作品、家庭、地域社会で出会うデザイン、美術などのよさや美しさを感じ取ったりしながら、生活や社会の中の形や色などと豊かに関わったりしようとする。</p>	<p>自分自身の感覚や行為を通して、造形的な視点(形や色など)について理解を深め、表したいこと(自分の願いや意思、経験、用途など)について構想し、自分にとって新しいものをつくったり、つくり変えたりしながら創造的に表現する。</p> <p>視覚や触覚などの感覚、体感的・体験的に造形的な特徴を捉え、作品に対する自分の見方や感じ方を深め、新しい見方や感じ方に気付く。</p>	<p>形や色との関わり、感性を働かせて表現することに喜びや楽しみを見出し、自分の存在や成長、自己実現の充実感や自分自身の変容をモニタリングすることによって、生活や社会と豊かに関わったり、主体的に発信したりする。</p> <p>伝統を継承し、文化や芸術を創造することの意味や価値に気付き、生活や社会と豊かに関わろうとする態度を身に付ける。</p>
実践前の子供の姿	<p>3年生までに学んだことや、4年生の学習経験をもとに、造形活動に対する楽しさや喜びを感じながら、表したいこと、表し方などについて考え、発想したり、構想したりする。</p> <p>自分や友達作品の形や色の特徴から、自分なりの見方や感じ方を見つける。</p>	<p>自分の思いや気持ち、身近な材料や素材の形や色などの特徴や、視覚や手触り、体全体の感覚を生かしながら活動や表し方などを工夫する。</p> <p>自分たちの作品から、形や色の見方や感じ方を広げ、よさや美しさを考える。</p>	<p>進んで題材や素材などに働きかけ、楽しかったことや、考えたことなどを表現することを楽しみ、思いのままにつくったり、いろいろな表現方法を試したりする。</p> <p>無意識的に形や色のよさや美しさを感じたり、材料の感触を楽しんだりしながら、人や作品と関わる。</p>
本実践における子供の姿と支援	<p>光や影の形や色の違いや変化に気付く場面を設定し、材料を集めたり、組合せたりする活動の中で、光を透過する材料の形や色などの造形的な特徴に着目させ、自分なりのイメージ、意味や価値を見つけながら表現・鑑賞の活動に取り組むことができるようにする。【自己調整】</p>	<p>光と影の形や色、光源のある環境や場所など、表したいことや表し方を試し、つくり変える活動を通して、自分や友達の表現のよさに気付いたり、<u>自己造形的な活動の見通しやイメージを捉えなおしたりしながら活動を進めることができるようにする。【自己調整】</u></p>	<p>単元全体を通して体全体の感覚を働かせたり、いろいろな材料を試したりしながら、<u>造形遊びの行為そのものに意味や価値を見出し</u>たり、自分のイメージに合った表現を見つけたることによって、光と影の形や色などのよさや美しさを楽しむ、新しい見方や感じ方を広げることができるように、環境構成する。【自己調整】</p>

一人ひとりの子供が他者とともに自己調整する学び

実践の目的 材料や作品、場所や出来事などを、造形的な視点で捉え、自分の中にある色や形などの造形的な特徴に対する見方や感じ方を深めながら、「つくりだす喜び」を実感し、「豊かな情操」を育む

課題設定
光を透過する材料の形や色などの造形的な特徴に着目し、自分なりのイメージ、意味や価値を見つけながら、活動に取り組む。






パフォーマンス
体全体の感覚を働かせたり、いろいろな材料を試したりしながら、造形遊びの行為そのものに意味や価値を見出し、自分のイメージに合った表現を見つける。

課題追究
光と影の形や色、光源のある環境や場所など、表したいことや表し方を試し、つくり変える活動を通して、自分や友達の表現のよさに気付く、自己の造形的な活動の見通しやイメージを捉え直ししながら、表現及び鑑賞の活動に取り組む。

自己調整

- 自分なりのイメージ、意味や価値に気付く。
【メタ認知(モニタリング)】
- 過去に獲得した知識・理解、技能等を活用し、活動の見通しをもつ。
【学習の転移】
- 活動を振り返り、新しい意味や価値を見出す。【省察】

単元の構想


絵に表す		造形あそび	
材料、用具に触れ思いを表す 「絵の具でゆめよう」(4月)	想像したことから表す 「まぼろしの花」	場所や環境を生かして 「ここにいたい」(5月)	体全体を働かせて活動 「ここをつつんだら」(6月)
 いろいろな表し方を試し、形、色などの組合せの工夫を見つけました。 自分の心のイメージを大切にしたい。	 イメージしたことに合わせて表現の仕方を工夫しました。 想像したことを絵にできて、楽しかった。	 場所と関わり、より心地のよい場所になるようにつくりかえました。 どこに座っても花が見えるようにしたよ。	 材料や場所の特徴に合わせて、イメージを膨らませ、活動の面白さを感じました。 内側から見ると外がキラキラして見えたよ。



本実践「光と影のインスタレーション」				次年度との系統性	
4年生(6月)		4年生(6月)		5年生(10月)	
A 表現(1)イ(2)イ 絵や立体、工作に表す		A 表現(1)ア(2)ア 造形遊び			
単元	「光のさしこむ絵」 材料や用具に触れながら思い付いたことを表す(4時間)	「ようこそ！ かげかげランドへ」 材料や場所を基にして活動する～明るい場所で・暗い場所で～(6時間)	「まどをのぞいて」 材料や場所を生かして活動する(2時間)	光と場所のハーモニー 場所・環境を生かして活動する～暗い場所で～(6時間)	
学習活動	<ul style="list-style-type: none"> ○ いろいろな材料に光を通し、見える形や色の面白さに気付く。 ○ いろいろな材料を光に通し、面白さを試しながら、表したいことを見付ける。 ○ 表したいことに合わせて材料を組合せ、表現を深める。 ○ 自分や友人の作品を、光を通して見合い、よさや面白さを味わう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 前単元の学習経験をもとに、影を投影すると面白いと思う材料を持ち寄り、影をつくりながらどのようなことができそうか見直しをもつ。 ○ 友達と協力し、影の形を確かめながら材料を組合せて、活動を工夫する。 ○ 自分たちのつくった影を写真に撮って発表し合い、お互いの表現のよさや面白さを味わう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 窓の外の景色を見ながら、つくりかえたいところを探す。 ○ 窓から見える景色を生かして、窓に材料を貼りながら景色の様子を変える。 ○ 光と影の形や色の様子を試したり、確かめたりしながらつくりかえる。 ○ つくりかえた様子や理由を友人と話し合い、お互いの表現のよさや面白さを味わう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ いろいろな材料に光を当てて、壁や天井などに映る形や色を試し、完成までのイメージをもつ。 ○ 映した場所・環境の様子、材料と光の組合せなどからイメージを膨らませ、アイデアを出し合いながら、さらに場所の様子をつくりかえる。 ○ みんなでつくりかえた場所の様子を味わい、そのよさや美しさを感じ取る。 	
材料・用具	<ul style="list-style-type: none"> ・ 光を通す材料(色セロハン、透明な空き容器、プラスチック段ボールなど)、ペン、セロハンテープ、水彩絵の具、お花紙(薄紙)、刷毛、ローラー、ブラシなど 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 投影してみたい材料(空き容器・厚紙・色セロハンなど)、セロハンテープ、ロール紙、ひも、ビニルテープなど ・ プロジェクター、スクリーン、デジタルカメラ、タブレットなどのICT機器 	<ul style="list-style-type: none"> ・ お花紙、色セロハン、マスキングテープ、ホワイトボードマーカー、毛糸など 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ペットボトル、ざる、かご、ミラーシート・鏡、色セロハン、トレーシングペーパーなど光を当てると面白い形ができる材料など ・ プロジェクター、LEDライト、デジタルカメラやタブレットなどのICT機器 	
目指す子供の姿	いろいろな材料への働きかけを工夫し、光によって変わる見え方や感じ方に気付きながら、自分のイメージを膨らませ、思い描いた世界をつくりだそうとする。	光と影がいつもと違う見え方(形や色など)をすることで、新しい見え方を見付け、自分のイメージに合った見え方や組合せ方をつくりだそうとする。	見慣れたいつもの景色にある形や色の印象を生かし、試したり、つくりかえたりすることで、新しい価値をつくりだす喜びを感じる。	自分や他者の考えを尊重し合いながら、材料の特徴を効果的に生かし、場所や環境に働きかけることで、よりよく変えてみようとする。	
					

単元計画

	学習活動(○)	子供の姿と評価(◇) ※写真は本実践の様子	教師の支援 (課題, 追究, パフォーマンス)
明るい場所 1	<ul style="list-style-type: none"> ○ 身近な材料(遊具, 木, 体育用具等)に日光を当て, いろいろなものの影の形を確かめながら, 自分がつくりたい影の形をイメージする。 ○ 前単元の活動を想起しながら, 身近な材料や体全体を使った影の形を組合せたり, 活動場所を工夫したりしながら影をつくる活動を楽しむ。 	<p>いつも見ているものの影の形の面白さに気付いたよ。</p>  <p>知◇ 影の形をつくる感覚や行為を通して, 新しい形を捉えている。</p>	<p>課 様々な影の形を捉え, いろいろな表現方法を試しながらイメージを膨らませることができるよう, 多様な材料を準備し, 事前に活動の見通しや期待感をもたせる。【自己調整: 動機付け, 見通し】</p>
2	<ul style="list-style-type: none"> ○ 友人と協力してできる影の形を確かめたり, 試したりする活動を通して, 影の様子の変化や影をつくる活動の良さや面白さについて交流する。 ○ iPad で撮影した写真をもとに活動を振り返り, お互いの表現のよさや面白さを味わい, 影の形の感じや形の組合せによる感じなどについて自分の見方や感じ方を広げる。 	<p>赤いセロハンを使って, オリンピックの聖火ができたよ。</p>  <p>思◇ 影の形や組合せを工夫し, イメージに合う形を創りだしている。</p>	<p>追 影の形を組み合わせたり, 位置や場所を変化させたりしながら, 自分のイメージに合わせて活動できるよう, 交流の観点(表現のコンセプト, 影の形の変化, 活動の良さや面白さ)について共通理解を図る。【自己調整: メタ認知(モニタリング)】</p>
暗い場所 3(本時)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 光を透過する材料に光を当て, いろいろな影の形や色を確かめながら, 自分がつくりたい影の形や色をイメージする。 ○ 前単元(「光のさしこむ絵」)や前時の活動を想起しながら, 光の当て方や材料, 影の形や色の組合せを試したり, 活動場所を工夫したりしながら影をつくる活動を楽しむ。 	<p>光の当て方を変えると影の形や大きさ, 色も変わったよ。</p>  <p>知◇ 光源と材料の距離や影をつくる感覚や行為を通して, 形や色, 組合せの感じがわかる。</p>	<p>課 様々な影の形や色を捉え, いろいろな表現方法を試しながらイメージを膨らませることができるよう, 前単元や前時の活動を想起させたり, 光を透過する材料を準備し, 活動の見通しや期待感をもたせたりする。【自己調整: 動機付け, 学習転移】</p>
4	<ul style="list-style-type: none"> ○ 友人と協力してできる影の形や色を確かめたり, 試したりする活動を通して, 影の形や色の変化や影をつくる活動の良さや面白さについて交流する。 ○ 活動を振り返り, お互いの表現のよさや面白さを味わい, 影の形や色の感じや組合せによる感じの良さや美しさなどについて自分の見方や感じ方を広げ, 次時の活動に対する期待感や見通しをもつ。 	<p>色セロハンで光の国。いろいろ試してイメージ通りできたよ。</p>  <p>思◇ 光の当て方と材料の組合せを工夫し, イメージに合う形を創りだしている。</p>	<p>追 影の形や色を組み合わせたり, 光の当て方を変化させたりしながら, 自分のイメージに合わせて活動を工夫できるよう, 交流の観点(表現のコンセプト, 影の形や色の変化, 活動の良さや面白さ)について共通理解を図る。【自己調整: 学習方略】</p>
暗い場所 5	<ul style="list-style-type: none"> ○ 材料, 光源, 場所を工夫し, いろいろな影の形や色を試し, 確かめながら, 自分のイメージに合った表し方を考える。 ○ 前時までの活動経験を想起し, 光の当て方, 影の形や色, 場所の特徴などの組合せを基に, 新しい表し方を考え, 自分の思いに合った表現活動楽しんだり, 達成感を味わったりする。 	<p>影の形や色を工夫して, 自分の物語を表現できてうれしい!</p>  <p>鑑◇ 影を工夫する感覚や行為を通して, 形や色, 組合せの感じや, 活動の良さや面白さに気付いている。</p>	<p>追 影の形や色を組み合わせたり, 光の当て方を変化させたりしながら, 自分のイメージに合わせて, 新しい表現方法を試したり, 確かめたりできるよう, 交流した観点(表現のコンセプト, 影の形や色の変化, 活動の良さや面白さ)に基づいて活動を進めている姿を認める。【自己調整: 学習方略】</p>
6	<ul style="list-style-type: none"> ○ 友人と協力してできる影の形や色を確かめたり, 試したりする活動を通して, 影をつくる造形あそびの良さや面白さについて交流する。 ○ 活動を振り返り, お互いの表現のよさや面白さを味わい, 影をつくる造形あそびの形や色の感じや組合せによる感じの良さや美しさなどについて自分の見方や感じ方を広げる。 	<p>形や色を組合せてもつといろいろな表し方を試してみたいな。</p>  <p>主◇ つくる喜びを味わい, 形や色の良さや面白さ, 美しさを感じながら, 進んで新しい表現に取り組もうとしている。</p>	<p>パ 影をつくる造形あそびを通してつくりだす喜びや, 形や色の感じや, 組合せによる感じの良さや美しさなど, 自分の見方や感じ方を広げられるよう, 表現と鑑賞の活動を一体的に取り組むことができる時間と場所を保証する。【自己調整: 動機付け, 学習転移】</p>

7 鑑賞	<p>○ iPad で撮影した自分たちの活動の様子をもとに活動を振り返り、お互いの表現のよさや面白さ、影の形の感じや形の組合せによる感じなどについて話し合う。</p> <p>○ 実生活の中や、身近にある光と影をつかった作品を鑑賞し、光と影がつくりだす形や色、造形あそびの活動の意味や価値などについて考え、次の活動(「まどをのぞいて」)につなげる。</p>	<p>窓の外の景色が違って見えたよ。新しい造形あそびをしたいな。</p>  <p>主◇ 学んだことと実生活をつなぎ、生活の中の美術と豊かに関わろうとする意欲を高めている。</p>	<p>課 普段の生活の中や、光と影がつくりだす形や色について感じたことを交流し、つくりだす喜びや造形的な良さや面白さ、美しさに対する見方や感じ方を広げ、豊かな生活を創造しようとする態度を養う。【自己調整:省察】</p>
---------	---	--	---

本時計画(3-4h/7h)

<p>本時の目標 身近な材料を組み合わせた、光の当て方を工夫したりしてできた影の形や光の色などの感じから、自分なりのイメージもち、活動を工夫することができるようにする。</p>	
<p>学習活動(○)と子供の姿</p>	<p>教師の支援(☆, 課題, 追究, パフ)と評価(□)</p>
<p>○ 前時の活動を想起し、題材の特徴を捉える。</p>	
 <p>いつも見ている影が違って見えて楽しかったよね。</p> <p>影をつなげたり、重ねたりすると面白い形ができたよ。</p>	<p>課 様々な影の形や色を捉え、いろいろな表現方法を試しながらイメージを膨らませることができるよう、前単元や前時の活動を想起させたり、光を透過する材料を準備し、活動の見通しや期待感をもたせたりする。【自己調整:動機付け, 学習転移】</p>
<p>○ 光の当て方を工夫したり、光を通さないものと通すものを用いて影を映したりして、映った影の形や光の色などの感じを楽しむ。</p>	
 <p>見て、見て！影絵で犬。私の体が伸びて見えるよ！</p> <p>ライトでも影をつなげたり、重ねたりできた。面白い！</p>  <p>セロハンの色が壁に映っているとキラキラしてきれい。</p> <p>光を動かすと影もゆらゆら動く！いっしょに遊ぼうよ。</p> <p>ペットボトルとかプリンのカップとかも使えそうだね。</p> <p>影を組合せてお城みたいな形ができたよ。</p>	<p>☆ 自分なりに見つけた材料の活用の仕方を友達と共有する場を設定し、お互いに発想に広がりをもたせることができるようにする。</p> <p>☆ 制作過程の見通しを提示することで、鑑賞までの行程を意識した制作活動を行うことができるようにする。</p>
<p>○ 自他の制作を鑑賞し、これからの活動全体の見通しと自分の思いやイメージをもつ。</p>	
<p>物とか体で影絵の物語ができそうだよ。</p> <p>いろいろな色の光と影を生かして、まちをつくらうよ。</p> <p>みんな！ペットボトルと懐中電灯を持って来ようよ。</p> <p>光と影で遊べる場所をつくって、みんなを招待しよう！</p> 	<p>追 影の形や色を組み合わせたり、光の当て方を変化させたりしながら、自分のイメージに合わせて活動を工夫できるよう、交流の観点(表現のコンセプト、影の形や色の変化、活動の良さや面白さ)について共通理解を図る。【自己調整:学習の転移】</p> <p>☆ 場の設定を工夫し、活動の動線に鑑賞の機会が生まれるよう環境を構成し、表現と鑑賞の活動が一体的に行うことができるようにする。</p> <p>思 光の当て方と材料の組合せを工夫し、イメージに合う形を創りだしている。(活動の様子、発言の内容、振り返りシート等)</p>
<p style="text-align: center;">かげかげランドをつくろう！</p>	
<p>○ 材料の組み合わせや光の当て方を工夫して活動する。</p>	
 <p>私たちは、影の動きを工夫して、動物の話にしよう。</p> <p>光を天井に当てたら虹のまじりができそうだよ！</p>  <p>並べ方を変えてみよう。いろいろ試して形を決めよう。</p> <p>光を付けたり、消したりしたら、きっとびっくりするぞ！</p>	<p>☆ 活動の工夫について焦点を当てることで、表現・鑑賞活動において技能の優劣にとらわれずに試したり、つくりかえたりすることができるようにする。</p> <p>☆ 対話的な活動を活性化させることができるように、作品のイメージやテーマを問い返したり、形や色などの感じを視点に対話を行ったりする。</p> <p>☆ iPad(写真・動画等)を活用し、成果物としての影の鑑賞だけでなく、活動の工夫や制作過程の変容にも気付くことができるようにする。</p> <p>☆ 本時の活動で感じたことをもとに、次の学習に対する期待感や活動の工夫の意欲を高めることができるようにする。</p>
<p>○ 本時の活動を振り返り、次時の活動の見通しをもつ。</p>	
<p>うさぎみたいな影ができたから、動かし方を工夫したい。</p> <p>セロハンの重ね方を変えて、もっとカラフルにしたい。</p> <p>イメージが持てないな。友達や先生と話してみよう。</p> <p>光と影の図工は楽しい。試してみたいことがいっぱい。</p> 	<p>知 光源と材料の距離や影をつくる感覚や行為を通して、形や色、組合せの感じがわかる。(活動の様子、ふりかえりシート等)</p>